

第1回 江津の街づくりを考える会が開催されました

10月24日(金)、パレットごうつにおいて「江津の街づくりを考える会(代表:今井聖造 様 石州あかがわら代表取締役 今井産業株式会社顧問)」の第1回の会合が開催されました。

この会は江津の資源を活かして、100年先の江津を描くことを目的としており、今後、毎月一回、金曜日に2時間開催される予定です。毎回、1時間は江津の歴史等を学び、残りの1時間でディスカッションをする計画になっています。

第1回は下村明雄先生に講義をしていただき、江津の地勢、江津市の古代等について学び、江の川は巨大な川であるのに、河口の平野はなぜ狭いか、古墳時代や律令時代の江津について学びました。100年先の江津を考えるには、まずは過去を振り返り、歴史を活かしたまちづくりが必要であるということから、歴史の勉強からスタートしています。

当校からは今年は建築を学ぶ2年生と1年生4名が参加させていただくことになりました。生徒にとっては街づくりの実学を学べる貴重な機会です。卒業後も何らかの形で、この会に関わってくれることを期待しています。

この会の様子は全て録画してアーカイブ化され、50年後の皆様にご覧いただくことになっています。

早速、意見を求められた生徒たちは、「江津の美しい自然を生かしたまちづくり」等の意見を述べていました。都会にあるものを求めるのかと思って聞いていましたが、そのようなことはなく、江津が大切にしなければいけないものを活かした街づくりが必要ということを表明してくれました。手前味噌ですが、本当に素敵な生徒たちです。都会にはない江津らしい新たな街ができることを期待します。

当校に貴重な学びの機会をいただいていることに感謝いたします。



SNSにも掲載します

